

ヤマホール II

株式会社 ヤマワ

泥濃式推進工法は、高濃度泥水を利用し、切羽の安定を図りながら推進し、排泥は真空吸引による方法が取られています。この方法で作業を進めるに当り、作泥材は重要な役割を占めています。この度開発されました「ヤマホールII」は、従来の製品に比べて、誰にも簡単に作液出来、十分な性能を持った製品であります。その特長と使い勝手の良さをご理解いただき、ご利用いただきますよう切にお願い申し上げます。

1. ヤマホールIIの特長

- わずかな使用量により十分な性能が発揮されます。
- 従来の材料使用量に比べて使用量が低減します。
- 材料置場、使用量の低減により作業環境が改善されます

2. ヤマホールIIの使用方法

- 1) 所定量の水をミキサーに投入して下さい
- 2) ミキサーを回転させながら、ヤマホールIIを規定量添加して下さい。
- 3) ヤマホールIIがしっかり混ざったら粉末粘土を規定量添加して下さい。
- 4) 十分攪拌させれば泥水は出来上がります（攪拌時間は約5分程度）

3. 製品の性状および包装形態

外 観	淡黄色
成 分	天然鉱物
安 全 性	毒物および劇物取締法：毒劇物 該当せず 労働安全衛生法：有機則、特化則、表示物質 該当せず
包装形態	25 k g 紙袋

4. 泥濃式推進工法配合例（1M3用配合）

	単 位	土質による区分					
		A	B	C-1	C-2	C-3	D
ヤマホールII	kg	8	14	15	15	15	3
粉末粘土	kg	0	0	0	60	120	0
目詰材	kg	3	6	8	10	12	0
離 間 剤	kg	0	0	0	0	0	0
水	kg	996	994	986.8	960.5	934	999

離間剤＝粘土付着防止剤（ネントールL-L・P-Lまたはカイコー1・2）

土質区分	区分内容	土質区分	区分内容
A	粘性土（N値5未満）、砂質土（N値25未満）	C-1	砂礫土 礫率 30～39%
B	砂質土（N値25以上） 砂礫土（礫率30%未満）	C-2	砂礫土 礫率 40～59%
D	粘性土（N値5以上50未満）	C-3	砂礫土 礫率 60～79%

5. 取り扱い上の注意

- ・ 防塵マスク・防塵めがねを着用の上取り扱い下さい。
- ・ 目に入った場合、皮膚についた場合は15分間以上清水にて洗って下さい。
- ・ 吸い込んだり飲み込んだりしたら、吐き出させた後医者への診察を受けて下さい。
- ・ 製品そのものは無害ですが、お取り扱いには十分注意して下さい。